

# 諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成18年9月

(平成18年8月末調査)

平成18年9月14日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

**諏訪信用金庫  
経営相談室**

電話 0266(23)4567(代)

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率 【7月】	諏訪公共職業安定所管内	1.21 倍	0.04 ポイント
	岡谷公共職業安定所管内	1.41 倍	0.08 ポイント
手形交換高【8月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	12,901 枚	19.1 %
	金 額	15,455 百万円	199 百万円
うち不渡り発生状況	枚 数	0 枚	2 枚
	金 額	0 千円	700 千円
車庫証明取扱件数【8月】 (諏訪・岡谷家用自動車協会管内)		1,094 件	2.2 %
新設住宅着工件数(18年4月～7月) (諏訪地方事務所管内)		880 件	206 戸

## 概 況

### 地域の製造業

夏季休暇により稼働日数が少なく売り上げが前年比減少したところがみられるが、輸送用機械、電気機械、産業機械、精密機械などの下請企業の受注状況は安定している。

音響機器部品や専用機械などの一部企業の受注は減少しており、携帯電話部品の下請企業の受注は機種により増加・減少区々となっている。

アルミや銅などの素材価格の上昇や原油高に伴う輸送コスト・副資材の値上がりなどにより、利益確保に課題を抱える企業が多い。競争力のある企業の中には、選別受注や発注企業に受注単価の見直しに応じてもらった企業も一部にみられる。

地域製造業は収益性に課題を抱え、情報機器部品などの下請企業に先行き不透明感が聞かれるが、総じて受注動向や雇用状況から前月に続き景況は安定している。

### 商業

7月中旬から後半の集中大雨と8月の高温、少雨、多照などの天候は、商業活動に大きな影響を与えた。「岡谷太鼓祭り」をはじめ地域の多くの夏祭りが中止や延期となり、衣料品や生鮮食品などの売れ行きは前年を割り込んでいる。こうしたなか、諏訪湖上花火大会に向け浴衣など一気に売れた商品がみられた。

衣料品は、今シーズンの水着・浴衣・婦人服は低調だったが、浴衣は湖上花火大会の前は一時的に好調な売れ行きをみせた。残暑が厳しく肌着など夏の実用衣料品の動きは良かったものの、商品単価が低く8月の売り上げは前年を割り込んだところが多い。

食料品は夏のイベント中止の影響が大きく、プレミアムビールや飲料、果物の売れ行きは好調

だったものの全体では前年を割り込んだ模様。

大型家電店は、大型薄型TVや携帯電話、冷蔵庫など順調な売れ行きをみせたものの、家庭用エアコンは前年同期を下回り総体では前年並みとなっている。

ホームセンターは、残暑が厳しいなか扇風機や季節の生活雑貨、防災用品など順調な売れ行きをみせた。

## 観光

夏の観光シーズン最盛期を迎え期待されたが、7月の集中豪雨災害の影響から団体客の宿泊予約取り消しや地域イベントの多くが中止となるなど、災害の影響を大きく受けた。お盆を前に宿泊客は個人客のインターネット予約などで盛り返し、8月15日の諏訪湖上花火大会は過去最高の48万人が集まるなど大変な盛り上がりを見せた。高原の観光地は、お盆をピークに入り込み客が増え、前年並みの賑わいとなった。

上諏訪の旅館・ホテルは個人客が増加し、団体客の宿泊予約取り消しの全面回復までには至らなかったものの、前年並みに回復したところもみられた。花火大会の15日は満館のところのみられた。

蓼科・白樺湖・車山方面の宿泊客は、前半は7月の集中豪雨によるビーナスラインの部分崩落や宿泊予約取り消しなどの影響がみられたが、お盆を前に入り込み客が増え前年同期比では増加、減少区々となっている。

下諏訪温泉は、愛知万博の影響がみられた前年を上回る宿泊客の旅館がみられる一方、団体客の予約取り消しの影響が大きく、前年を割り込むところもみられた。

諏訪大社の参拝者は37千人で前年に比べ13千人程度減少した。団体客の予約取り消しの影響が参拝客数にも及んだ。

## 建設業

市町村の8月の発注工事は、964百万円で前年同月比107百万円増加した。地元企業への県発注工事は638百万円で、前年同月比412百万円増加した。県・市町村合わせた8月の公共工事の地元企業受注額は、1,602百万円で前年同月比520百万円増加した。

民間工事は7月の新設住宅着工件数が123戸で、前年同月比6戸増加した。18年4月～7月の累計着工戸数は880戸で、前年同期の累計着工戸数に比べ206戸増加した。建築工事は、工場建設や耐震工事などが増加しており、個人住宅やリフォームなど予定の受注量を確保したところもみられる。土木工事は、一部で災害復興工事が始まっている。

## 雇用

7月の有効求人倍率は、諏訪公共職業安定所1.21倍、岡谷公共職業安定所1.41倍で、諏訪地域の有効求人倍率は1.29倍と長野県の1.19倍を上回っている。

諏訪職安と岡谷職安を合わせた7月の新規求人(全数)は1,255人で、前月より203人と減少した。製造業からの新規求人は353人で、前月より12人減少した。前年同期比では、サービス業、医療・福祉関係からの求人が減少している。

地域の有効求人倍率は、平成15年10月以降34ヶ月連続して1倍を上回っている。

当金庫から見た需資動向に大きな変化はみられない。

## 業種別動向

### 1. 電気機器

プリント基板

受注状況は企業により区々となっている。携帯電話、デジタル家電などの基板は高水準の生産を続けているところもあり、総体では受注は幾分増加している。

コンデンサー

フィルムコンデンサーの受注は横ばいとなっている。

プリンター

下請企業の受注状況は区々となっており、大型プリンターは幾分減少している。

コンダクター・リレー

受注は安定しており堅調な生産が続いている。

### 2. 輸送用機械

自動車

国内メーカーは安定した生産を続けており、下請企業の受注は総体では高水準となっているが、メーカーにより減少したところもみられる。海外出荷の二輪車部品の受注は弱含みとなっている。

ピストンリング・

シリンダーライナー

海外の生産が増加しており、下請け企業の受注は幾分弱含みとなっている。

船外機

輸出が順調で外注企業の受注は安定している。

### 3. 一般機械

工作機械

自動車部品やO A部品の加工機械は引続き堅調な生産を続けているが、先行き慎重な見方もみられる。

専用機・省力機器

専用機械、省力化機械など産業機械の受注は安定しているが、一部に減少したところもみられる。

搬送用機械

デジタル家電企業や食品企業などの受注によりフル稼働の生産が続いている。

金型

情報機器や音響機器の金型受注は機種により増減区々となっている。当面の受注が減少したところもみられる。

アルミダイキャスト

自動車部品や情報機器、電源機部品など高水準の生産を続けているところがみられる。受注状況は総じて増加している。

### 4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ

全国のデジタルカメラの7月の生産台数は535万台で前月比7.9%の減少、前年同月比23.8%の増加となっている。7月の出荷台数は国内出荷73万台、輸出467万台で出荷台数全体では前月比0.8%の減、前年同月比20.3%の増となっている。(カメラ映像機器工業会)

海外生産が主流となっており、地域の下請企業の受注状況は区々となっている。レンズ交換式1眼レフの7月の生産台数は41万台で、前月比12.6%の増となっている。交換レンズの金属加工の受注は大幅に増加し、地域の下請企業の生産状況は引き続き高水準となっている。

プロジェクター

メーカー各社の海外生産比率の高まりを受け、下請企業の受注は前年同期比では大幅に減少している。地区内メーカーの家庭用プロジェクターは国内外で好評となっている。

- レ ン ズ ガラスレンズの生産は海外が主体となっている。下請企業の中には受注が幾分増加した企業が見られるが、国内のガラスレンズの生産量は減少しており総体でも減少傾向となっている。
- 5 . 織 維  
ニ ッ ト 冬物ニットの生産時期を迎えているが、気温が高く専門店の売れ行きが幾分低調となっており、地域のニットメーカーへの発注は遅れ気味となっている。特注で前年同期比受注が増加したところが一部にみられるが、総じては前月に続き幾分低調となっている。
- 6 . 食 品  
寒 天 受注、出荷ともにブームの昨年に比べ落ち着いた動きとなっている。  
味 噌 需要が幾分減少しており出荷は横ばいとなっている。
- 7 . 製 材  
諏訪地域の7月の木造住宅着工件数は85戸で前年同月比 8戸減少した。木材の動きが依然として弱いなか、建材(コンパネ、ベニヤなど)は原油高騰による輸送コスト高や輸入材の減少などから前年比2割程度値上がりしている。
- 8 . 建 設  
公 共 工 事 8月に地元業者が受注した県関係公共工事は、発注機関別では、諏訪建設事務所10件、林道治山工事関係1件、土地改良工事など5件合わせて16件、契約金額638百万円となっている。18年4月～8月の累計契約額は981百万円で前年8月累計比122百万円の増加。市町村発注工事は、建築工事7件390百万円、土木工事・下水道工事など55件520百万円、その他工事9件100百万円で合計71件963百万円と前年8月に比べ106百万円増加した。
- 民 間 工 事 7月の新設住宅着工件数は123戸で、前年同月比6戸増加した。建築工事は工場建設や耐震工事などに動きが見られるほか、土木工事が幾分増加している。
- 9 . 商 業  
7月の記録的大雨と8月の高温、少雨、多照などの天候が商業活動に大きな影響をもたらした。「岡谷太鼓祭り」をはじめ地域イベントの中止や延期が消費マインドに影響し、衣料品、贈答品など多くの商品の売れ行きが昨年を下回った模様。
- 衣 料 浴衣は、シーズン初めの出足は早かったものの、その後は梅雨入りから集中豪雨、イベント中止などの悪条件が重なり、売れ行きは止まってしまった。ただし、湖上花火大会前に一時的に好調な売れ行きをみせた。肌着など夏の実用衣料品は売れ行きを伸ばしたものの、婦人服は高温・多照の気候の影響を受け売れ行きはやや低調だった。
- 食 料 品 イベント中止などの影響もあり、生鮮三品の売れ行きは幾分低調だった。野菜は品薄から価格が高止まり、売上額は前年並みの店舗もあった。果物などは順調な売れ行きであった。プレミアムビールの人気は高く、飲料は好調な売れ行きをみせた。

電 気 機 器	薄型大型ＴＶや携帯電話は順調な売れ行きをみせ、家庭用エアコンは 8月上旬に一時動きがみられたものの、お盆以降動きが止まり総体で は前年並みとなった模様。
自 動 車	諏訪・岡谷を合わせた8月の車庫証明件数(軽自動車除く)は1,09 4台で、前月比28台増加した。前年同月比では163台(2. 2%)減少しており、前年同月比では4ヶ月連続して前年割れしてい る。ガソリン値上げの影響もあり好調な軽自動車に押され、普通乗用 車の売れ行きは幾分低調となっている。
ホームセンター	残暑が厳しいなか扇風機の売れ行きは好調だった模様。季節の生活雑 貨や防災用品などは、前年並みの売れ行きとなっている。
デパート	7月の豪雨災害の影響もあり贈答品は幾分低調だった模様。高温、多 照の影響から婦人服の売れ行きは幾分低調だったが、紳士服、子供服 は順調に売り上げを伸ばした。

## 10. 観 光

夏の観光シーズンを迎え期待されたが、7月の集中豪雨災害の影響から8月上旬の団体客の宿泊予約取り消しや地域のイベント中止の影響を受けた。宿泊客は、お盆を前に個人客やインターネット予約客で盛り返し、高原の観光地はお盆に向け入り込み客が増え、前年並みの賑わいをみせた。

上 諏 訪 温 泉	団体の宿泊予約の中には7月の豪雨災害の風評などから予約取り消しが相当数あり影響を受けたが、個人客やインターネット予約などでお盆に向け盛り返したところもみられた。諏訪湖上花火大会は過去最高の48万人が集まるなど大変な盛り上がりをみせ、満館の旅館・ホテルがみられた。これにより、団体客の予約取り消しの全面回復までには達しないものの、前年並み近くまで盛り返したところもみられた。サマーナイトフェスティバルは定着し好評で集客効果が出ている。
蓼科・白樺湖・車山	7月の豪雨によるビーナスラインの部分崩落などから、前半の入り込みは幾分低調であったが、お盆に向け回復した。宿泊客は旅館・ホテルにより増加、減少区々となっているが、総体では前年を幾分割り込んだ模様。日帰り客は、週末の天候に恵まれず前年比では幾分減少した模様。
下 諏 訪 温 泉	宿泊客は愛知万博の影響を受けた昨シーズンを上回ったところもみられたが、豪雨災害風評などから団体客の予約取り消しの影響が大きく前年割れのところもみられ区々となっている。
諏 訪 大 社	参拝客は37千人で前年を13千人下回った。団体客の予約取り消しの影響から参拝客が減少した。

## 最近の長野県経済の動向

(2006年9月6日)日本銀行松本支店

2006年6、7月の主要経済統計および企業ヒアリングを中心に取りまとめ。

長野県経済は、緩やかで着実な回復が続いている。

足もとの最終需要の動向をみると、設備投資は、増加基調を継続しているほか、輸出も、緩やかに増加している。また、住宅投資は、市部を中心に増加基調にある。個人消費は、乗用車販売がガソリン価格高騰の影響を、衣料品売上が天候不順の影響を受けて、なお弱めの動きとなっているが、食料品や家電製品、身の回り品を中心に、総じてみれば底堅い動きが続いている。一方、公共投資は、引き続き前年を下回った。

以上のような最終需要のもとで、生産は、産業機械向けがやや鈍化したものの、IT関連財および自動車向けは高水準の生産を継続している。また、雇用面をみると、企業活動の活発化を映じて、有効求人倍率が高水準を継続しているほか、常用雇用者数も前年比増加に転じるなど、改善基調が続いている。一方、所得面は、所定外給与の増加を受けてきまって支給する給与が引き続き前年を上回るなど、着実に改善している。

金融面の動向をみると、地元8行庫ベースでの貸出平残前年比は、6月に-0.8%となった後、7月は-0.8%と前月並みとなった(5月:-0.7% 6月:-0.8% 7月:-0.8%)。一方、実質預金平残前年比は、6月に+0.9%となった後、7月は+0.1%と前月に比べプラス幅が縮小した(5月:+0.2% 6月:+0.9% 7月:+0.1%)。この間、貸出約定平均金利(新規分)をみると、6月は2.176%と前月比+0.019%ポイント上昇した後、7月は2.156%と前月比-0.020%ポイント低下した。

### 個別業界の動向

(生産)

**半導体関連**では、半導体素子およびシリコンウエハが、デジタル家電・自動車関連向けを中心に、高水準の生産を続けている。この間、リードフレームは、低調な生産となっている。

**電子部品**では、コンデンサが、デジタル家電向けを中心に、抵抗器も、デジタル家電、携帯電話向けを中心に、高水準の生産を維持している。また、モーターは、生産水準を引き下げた。

**情報機器**では、県内生産分のパソコン(ノートブック型)は、高水準の生産が続いている。また、プリンターは、複合機タイプの販売堅調を背景に、横ばい圏内で推移している。一方、デジタルカメラは、海外生産の強化を受けて、生産は低調に推移している。

**時計**では、完成品が、海外生産シフトの影響から、基調としては低調な生産を続けている。また、ムーブメントは、価格競争の激化を受けて、一段と生産水準を引き下げた。

**自動車部品**は、国内向けが販売台数の減少を受けてやや鈍化しているものの、引き続き海外向けが増加基調にあることから、全体として高水準の生産が続いている。

**工作機械**は、海外の自動車向けや国内外の情報関連機器向けが堅調を継続しているものの、国内の自動車向けに一服感がみられていることから、生産水準をやや引き下げた。

**計器**は、国内の産業機械向けや半導体関連向けが低調であるほか、国内外の自動車向けが引き続き減少していることから、低水準の生産が続いている。

**バルブ**は、ウェイトの高い国内外の産業機械向けおよび国内の住宅向けが好調を継続していることから、高水準の生産が続いている。

**味噌**の出荷は、横ばい圏内で推移している。

**飲料**は、スポーツ飲料、炭酸飲料の受注が気温低下の影響から落ち込んだものの、緑茶飲料の需要が高水準で推移していることに加え、野菜飲料の需要も好調なことから、総じてみれば堅調な生産となっている。

(個人消費)

**県内大型小売店(百貨店、スーパー)売上高**(当店調べ<店舗調整前>)をみると、衣料品は、クールビズ関連商品が堅調な売れ行きを示しているものの、7月中・下旬の豪雨や気温低下が響き、夏物を中心に引き続き前年割れとなった。一方、身の回り品は、ブランド・テナント出店効果等により婦人向け商品や時計・宝飾品などの高額商品が好調に推移したことから、食料品も一部店舗の改装・新規出店効果等から、引き続き前年比増加したため、全体では4か月連続で前年を上回った。

**家電販売**は、パソコンが新OSの発売を控えてこのところ減少しているものの、デジタル家電や白物家電等が好調を持続していることから、全体では堅調な販売が続いている。

**自動車販売**をみると、8月の新車登録台数は、ガソリン価格が高値で推移する中で、乗用車が引き続き減少した一方、軽四輪が新型車投入効果等により前年比プラスが続いていることから、全体では4か月振りに前年を上回った。

県内建設関連企業における**民間工事新規受注額**は、県外業者との競合が続いているものの、マンション建設や設備投資案件が継続的にみられるなど、持ち直しつつある。

**公共工事請負額**は、国、県、市町村発注分の減少から、7月は6か月連続で前年を下回った。

**住宅着工戸数**は、住宅ローン金利の先行き上昇が窺われる中で、住宅業者等が積極的な販売活動を継続していることもあって、月々の振れを伴いながらも、市部を中心に増加基調にある。